

善徳

七三四一〇〇〇四
 広島市南区宇品神田四一十一一八
 善徳寺
 電話 〇八二二五一六〇二九

今年も報恩講の季節がや

つてまいりました。

自坊でも下記のように勤めますが、後ろのページには、別院での報恩講の案内をしておりますので、ごな

法然聖人は、浄土宗の開祖ですが、現在の浄土宗は、諸善をよく積んだ方が往生の助けになるというように、実際の法然聖人の教えとは内容が少し変わってしまっているところがあるようです。

報恩講は親鸞聖人のご法事を勤める行事です。本山で一月十六日に勤められる御正忌報恩講にお参りできるように、末寺や一般家庭では、十一月から十二月にお勤めします。このご縁に

親鸞聖人は、法然聖人の教えの真実を伝え、自らの善業や修行というもので往生できるものではないと、はっきり仰っております。

浄土真宗の教えに是非出逢って下さい。

親鸞聖人は、法然聖人のお弟子で、自分では弟子を持つったり、新しい宗派の開祖だとは、一言もおっしゃいませんでした。ただ、法然聖人の教えを正しく伝え、実践することのみ思われて、人生を過ごされた方でした。



親鸞聖人が、浄土の真実の

教えを伝えて下さったおかげで、修行のできない私たちも、安心して人生を過ごして、一生を終えることができるわけです。

ここで間違えてはいけません

せんが、親鸞聖人は、善い行いをしてはいけないう言われているのではありません。悪人正機の説と言われ、有名な歎異抄の文章「善人なほもつて往生をとぐ、いはんや悪人をや」(善人ですら往生をとげるのです。まして悪人が往生をとげられないことがありましようか)ですが、ここで言われている善人悪人という言葉

を、普通の社会生活上の「いいことをする人」、「悪いことをする人」と解釈するのは間違いなのです。

悪人とは、「いつしても自分本位に考えてしまう私である」という事実を、自覚している人」の事です。

決して、日常生活でいいことをするなと仰っているのではなく、ましてや、悪い

ことをしてもいいぞと言われているのではありません。

親鸞聖人が仰っているのは善行を積んで、そのことで救われると思っははいけないということ

我々のする善行には、どうしても不純な気持ちが混じってしまいます。よくよく考えてみれば、結局は、自分のためによかれと思っはしていることが多いのではないのでしょうか。

そういう、不純なものがまじった雑行雑修を積んで、「そのまま救う」と言われる如来さまの仰せを素直に(裏面に続く)

報恩講お斎について
 今年もコロナの感染予防の為、中止します。代わりに心ばかりの茶菓子を用意しましたのでお持ち帰り下さい。

行事案内

除夜会

今年もコロナ予防の為中止します

修正会

一月一日 午前十一時より

御正忌法要

一月二十日(木) 昼席 夜席

講師 呉市 称名寺 南秀和先生

常朝時

毎朝七時から八時

報恩講法要

十一月二十六日(金)

昼席一時より勤行
夜席七時半より勤行

講師 舟入本町 永光寺 永光聖法 先生

二十五日(木) 午後一時よりおみがきをします。

お手すきの方はお手伝い下さい。

ただけない善人でも往生できると、親鸞聖人は仰っているのです。

ましてや、煩惱から離れられない身であること、つづく実感する悪人である私は往生が間違いないと言われています。

修行をして悟りを得ることは難しい身である私たちが、そういう私たち一人一人は、今もあたたかい如来の救いに包まれています

ところで、社会生活を行う上で、善い行いというものはとても大切なものです。

人と人との関係をよくするものでもあり、親切をした方、された方のもちらも幸福な気持ちになります。そして、その親切が、人から人へと伝わっていくものでもあります。

毎日、何かひとついいことをすることが、人の幸福感を上げると、心理学で聞いたことがあります。道端のごみを拾うとか、ほんのささいなことでもいいので、一日一善を心がけてみたいものです。

行事案内

本願寺広島別院

報恩講法要

日時 十二月十四日(火)

速夜午後一時半

初夜午後七時

十五日(水)

晨朝午前六時半

日中午前十時

速夜午後一時半

初夜午後七時

十六日(木)

晨朝午前六時半

日中午前十時

◎密を避けるため、広陵東組は十六日日中の参拝が推奨されています

講師 大阪 西光寺住職

天岸浄圓師

講師 大阪 西光寺住職

天岸浄圓師

講師 大阪 西光寺住職

天岸浄圓師

講師 大阪 西光寺住職

天岸浄圓師

講師 大阪 西光寺住職

天岸浄圓師

講師 大阪 西光寺住職

天岸浄圓師

講師 大阪 西光寺住職

天岸浄圓師

令和四年度

回忌法要のご案内

一周忌 令和三年寂

三回忌 令和二年寂

七回忌 平成二十八年寂

十三回忌 平成二十二年寂

十七回忌 平成十八年寂

二十五回忌 平成十年寂

三十三回忌 平成二年寂

五十回忌 昭和四十八年寂

法要の希望日時を、お寺と打ち合わせの上、お参り下さい。

◎寺の会場費のご案内

葬儀会場費は使用状況に応じて五〜十万円です。(法要のお布施は別になります)

本堂で法事のみ行う場合、会場費はいただきません。

法要後、ホールで会食される場合には会場費として一万円いただきます。

大谷本廟納骨のご案内

(喉仏だけの分骨で、親鸞聖人の傍に納めるといふ、真宗門徒にとって意義のあるものです)

善徳寺納骨壇

一人用 二万円

五人用 五万円

六人用 十万円

善徳寺墓地のご案内

納骨壇

一区画 四〇万円

二区画 六〇万円

三区画 八〇万円

元宇品墓地

一区画海側 六〇万円

一区画山側 八〇万円

無縁納骨墓(骨壺をあげて、他の方と一緒に納めます)

五万円

管理費

一区画 年間三千元

二区画以上 年間五千元

敬 弔

お浄土に参られた方を謹んでお知らせ致します。

十月二十四日寂 熊野町

北辰栄美子様 行年九十六才

十月三十日寂 西三丁目

佐々木信隆様 行年七十七才

「善徳」年七回発行

護持会員には毎回配布

ホームページ「宇品善徳寺」

